



美麻小中学校で入学式

4月4日（木）1年生2人、7年生（中1）10人の新入生を迎え美麻小中学校開校以来初となる小中合同での入学式が行われました。

校長先生のあいさつでは、美麻小中学校は、平成26年に文部科学省指定のコミュニティスクールへ移行することが決まっているそうです。

式典は、小中連携から小中一貫へと美麻地区の教育を取り巻く変化を具体的に感じられる入学式でした。

新入生の皆さんご入学おめでとうございます。



平成25年度総会を開催 (平成25年4月4日)

美麻公民館で平成25年度の総会を開催しました。



今年度は、美麻地区が、国の過疎地域等自立活性化推進事業に採択されたことから、移住定住促進、ブランドデザイン、伝統文化継承、若者交流人口獲得、魅力ある学校づくり等の事業を推進することとなりました。

総会では、地域づくり活動への参加のあり方、団体相互の連携、伝統文化の継承活動や、国の指定を受けて進められる小中学校のコミュニティスクール、福祉分野の活動のあり方などについて活発な意見交換がされました。

いただいた意見を参考にしながら、事業を推進していきます。

平成25年度地域づくり活動始まる

■新役員の紹介

総会において、役員の改選と部会の構成が行われました。

平成25年度地域づくり会議役員

会 長	宮沢雄一
副 会 長	大塚一男 (事業部会 部会長)
	前川浩一 (広報部会 部会長)
	中島 満
副専門部会長	
	小林茂敏 (事業部会 副部会長)
	大塚裕明 (広報部会 副部会長)
会 計	細井 忠
事務局長	清水一弘
監 事	松下豊明
	酒井豊一

■会長あいさつ

総会において25年度の役員を仰せつかりました。美麻地区がより暮らしやすく又一段と活性化できます様に役員一同微力ながら頑張りますので、ご指導ご協力よろしくお願いいたします。

特に本年度は過疎地域等自立活性化推

進事業が認められました。定住対策事業として念願の教員住宅改修や、学社融合事業、特産品づくり等、美麻地区に必要で役立つと思う事業ばかりです。

これらの事業をより効果的に行って行く為には役員任せではとても実現不可能です。地区をあげてより一層の奮起と会員各位の連携と協力が必要とされますのでお願いいたします。すでに動き出している事業もございますが、随時みあさづくり通信、ホームページでお知らせ致します。どんな事でもお気付の事や提案をお寄せ頂けたらと思います。

昨年度の先進地視察で飯田市上久堅に行ってきましたが、定住促進事業や、地

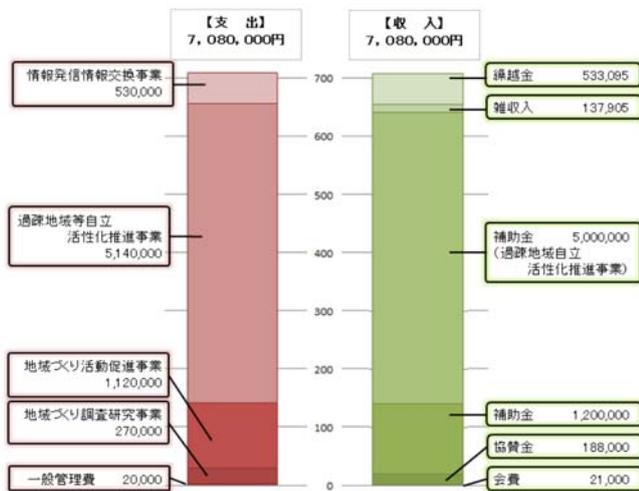
域活動の方法等大変勉強に成りました。また地域づくり委員の皆さんの参加を頂いたことは、同じ問題を考える為にも良かったのではないかと思います。本年度もより連携を密に行ないたいと思います。

(地域づくり会議会長 宮沢雄一)



平成25年事業計画

地域の自立促進を目標に、
事業費は過去最大の708万円を計上



1. 情報発信・情報交換事業

広報紙の発行、ホームページの管理運営、住民ディレクター事業を実施します。

- (1) 広報紙発行事業
- (2) ホームページ運営
- (3) 住民ディレクター事業

2. 地域づくり調査研究事業

先進地調査の実施や特産品研究開発に取り組みます。

- (1) 先進地調査研究事業
- (2) 特産品研究事業

3. 地域づくり活動促進事業

やまびこまつり参加や道の駅活性化、ふるさと美麻会交流、会員活動支援、学校・長野大学と協働で行う学社融合、定住促進に取り組みます。

- (1) やまびこまつり参加
- (2) 道の駅活性化事業
- (3) ふるさと美麻会交流
- (4) 会員活動支援事業
- (5) 学社融合事業
- (6) 定住促進事業

4. 美し村開拓協議会事業

美麻市を開催し、地域活性化事業を実施します。

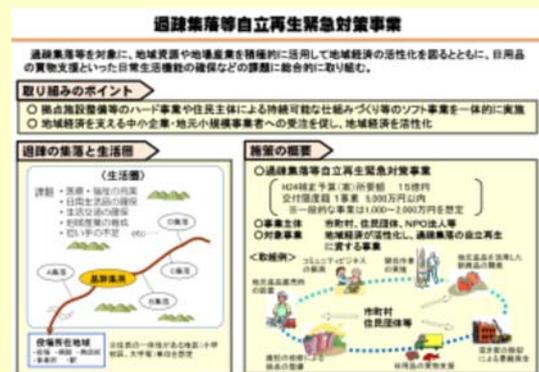
5. 過疎地域等自立活性化促進事業

国の過疎集落等自立活性化推進事業に採択されたことから、移住定住促進、ブランドデザイン、伝統文化継承、若者交流人口獲得、魅力ある学校づくり等の事業を通じて地域活性化を推進します。

- (1) 移住定住促進事業
- (2) 美麻ブランドデザイン事業
- (3) 住民ディレクター情報発信事業
- (4) 地域の文化継承事業
- (5) 若者交流人口獲得事業
- (6) 魅力ある学校づくり事業

過疎集落等自立活性化推進事業とは？

過疎地域の集落機能の維持・活性化に向けて、住民団体及び市町村が総合的に取り組む事業を国が支援することを目的として実施する事業です。



今回は、国の緊急経済対策の一環として全国で100件程度の募集に対して、600件以上の申請が寄せられる中、美麻地域づくり会議の提案を採択いただくことができました。

これは、地域の皆様のご理解と参加に支えられ、地域づくり活動を続けてきたことが評価されたものと考えています。この事業を契機に、地域の活性化が推進されるよう、事業に対するご理解と、ご支援をいただきますようお願いいたします。

今年も
みあさいちみんな
地区民の必修科目
『美麻市民科』の授業始まる！

今年で3年目を迎える学社融合プロジェクトは、美麻地域づくり会議と美麻小中学校、長野大学の3者が一体的に取り組む教育プログラムとして、“小中一貫教育教育”のメリットを最大限に活かすキャリア教育と総合学習を合わせた新しい教科教育課程「美麻市民（イミン）科」の授業を通じて、

- 一、地域に活力を！
- 一、子供たちに地域への愛着と誇りを！
- 一、学校に新たな地域教育を！

Win-Winの関係で生み出そうとする「地域再生プログラム」として実施しています。



キッカケ作り授業を実施

4月19日、美麻市民科の学社融合授業があり、地域づくり会議のメンバーの5人が参加して、修学旅行でいない3年を除く中学1、2年生を対象に取り組みへのアドバイスと取材を行ないました。自然をテーマにする1年生と歴史をテーマにする2年生に別れ、地域づくり会議のメンバーがテーマ探しのアドバイスをしました。生徒からの質問に対し、メンバーから生徒の考えたものを深めるアイデアを出したりしました。

美麻市民科の授業は毎週金曜日午後の2時から2時限です。

(広報部会長 前川浩一)



山口県で事例発表

2月16日、山口県山口市で行なわれた「第8回人づくり・地域づくりフォーラム in山口」に美麻地域づくり会議が招待され、3名が取材をかねて参加、分科会ではコミュニティースクールの3件の事例発表とともに学社融合プロジェクトの発表を行ないました。これまで地域づくり会議で行なってきた学校との連携事例を発表し、学社融合の域を超えた地域再生レベルの事例だと評価していただきました。交流会では多くのボランティアの方と交流ができて、山口県のボランティア活動の盛んなことがよくわかりました。



フォーラムの様子はインターネットで生中継しました。

ホームページ「美麻Wiki」で授業参観できます。
TOPページからこのアイコンをクリック！⇒



先進地視察研修報告

(vol.24 : 飯田市上久堅まちづくり委員会)



3月9日、地域で移住定住対策に取り組む実践事例について、飯田市上久堅地区の「上久堅まちづくり委員会」へ12名が参加して視察研修を行いました。

昭和39年に飯田市と合併した上久堅地区の現在の人口は1,486人、高齢化率38.7%とのことです。美麻地区と同様に過疎に悩む地域とのことですが、大きく違うのは、昭和45年に制定された「過疎法（過疎地域対策緊急措置法）」によらず地域づくりをしてきた地域であるということです。

また、飯田市は、自治法に定める地域自治区（地域運営について地域協議会が意思決定できる制度）を設置しており、上久堅地区では地域協議会と地域づくり活動を実践する「まちづくり委員会」が設置されていました。

まちづくり委員会では、飯田市から地域に交付される交付金（251万円：平成24年度）と地区負担金（17,000円／戸・年）等について、地域で予算配分を決めて定住促進住宅の建設、子育て支援事業や入学祝

金の給付、高齢者向けの配食サービスや、除雪費の補助など、地域が主体的に行っていました。

視察研修に参加して

はじめて聞いた上久堅は、飯田市の天竜川から東にどこまでも上がっていった山の中だった。斜面に建てられた小さな自治振興センターで、自治会長さん支所の方が待っていてくれた。役員に必ず女性を入れる、若者交流イベントの実施等々、美麻地区と同じ過疎の悩みを背負っている人々が、昔から補助金をもらわず自分達でやってきたという話には、すごいパワーを感じた。若いIターン家族の住む新築の家2軒を見て地区を後にした。（中島由子）

上久堅地区が飯田市に要望して計画的に建設している地域振興住宅。大町市にも同じ名前の住宅がありますが、大きく違う点がありました。

- ・建設用地は地域で用意して提供する。
- ・住宅は入居するアイターン者が設計に参加。
- ・10年間居住した後は、定住を希望する入居者に払い下げができる。

など、地域に定住する若い世代を優遇する内容となっており、地区の各所に個性的な住宅が建っていました。



聞いてみてわかった 美麻地区との活動の違い (事業等の例)

事業活動・指標等	上久堅地区	美麻地区
人口（平成24年4月1日現在）	1,486人	1,053人
地域づくり活動の協賛金等（年額）	17,000円／戸	200円／戸
子育て事業への学校、保育園等への助成	地区	地区
入学する児童への祝い金交付	地区	市
高齢者宅への食事の配達サービス	地区	市
高齢者宅への道路雪かき費用助成	地区	市



開催は、第3日曜日

今年で4年目を迎えた美麻市。今年から開催日を第3週に変更しました。当日は雪と寒さのため、会場を多目的広場の中に移しての開催でした。



今回のイベントは、しいたけのコマ打ち体験と苔玉づくり教室を行いました。



今年も源流美麻太鼓の会の演奏では始まりました。毎年メンバーが増えて、いつも以上に熱のこもった演奏をしてくださいました。

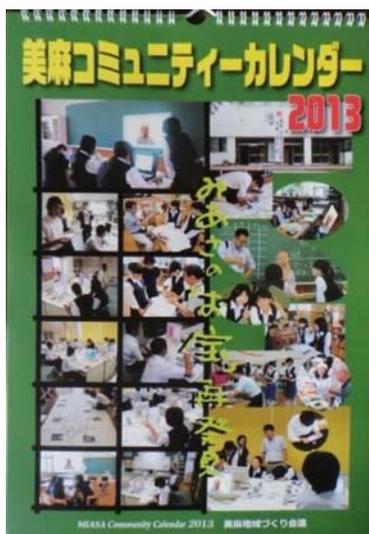


季節外れの雪の中、美麻の春を感じさせる品物が並びました。

美麻コミュニティカレンダー発行！

地域づくり会議作成のカレンダーが完成しました。

前年度、美麻中学校の学社融合事業で作成されたを事業成果を元に地区や学校、保育園のなど行事を取り入れました。各戸配布いたしますのでご利用ください。



各月、地域に密着した皆さんの情報が掲載されます。

■ 編集・発行 美麻地域づくり会議

住所 大町市美麻11810-イ 電話29-2311 FAX29-2333 ・ 電子メール info@miasa.info